

平成 22 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座

～ “まちづくりびと”のこれからを見つけるステップアップ編 ～

日 時：11月3日（水）文化の日

場 所：名古屋都市センター 11F ホール

時 間：10時00分～16時00分

秋が深まりつつある週半ばの祝日の今日、講師にクレセント・ワークスの小山田奈央さん※を招き、これまでの受講者が集まり、同窓会のように楽しく交流していけるような講座を実施しました。都市センターとしても、これまでの講座修了者を対象にしたステップアップ講座を開催することは初めてだったので、どんな講座になるかワクワクしていました。受講者は、平成17年度から平成21年度までに、“まちづくりびと”養成講座を修了した16の方が集まりました。同じ時期に講座を受けた仲間の再会や、異なった時期で講座を受けた仲間と初めて顔を合わせたりなど、初めは皆さん緊張した面持ちでした。

※【講師紹介】 小山田 奈央（おやまだなお） 北海道岩見沢市出身

大学生時代からのボランティア・市民活動での組織づくり体験をもとに、「クレセント・ワークス」の活動名で、フリーランスの人間関係トレーニングトレーナー／ファシリテーターとして東海エリアと北海道を中心に活動中。平成21年度の主な仕事には、生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座（愛知県）やファシリテーター入門講座（名古屋市）など。自治体主催の研修会のほか、社会福祉協議会、大学、NPO法人などの研修会講師や事業コーディネーターを請け負う。

午前の部 これまでをふりかえる

講座を始めるにあたって、都市センターまちづくり相談幹より、講座趣旨などの挨拶があった後、講師の小山田奈央さんから自己紹介をしてもらいました。

講座はまず、クレパスを各自1セット、28色入りのファンシーペーパーの中から自分が使いたい色画用紙を取りにいくことから始まりました。席に戻った後、画用紙を4分割するように、クレパスで自由に線を描いてもらい、絵を描く場所を4つ作りました。線を描くだけでも、直線や曲線、大きさ・形を均等にするかしないかといった様々な違いがありました。

- ①自己紹介（自分の名前、自分を表すもの）
- ②自分の活動を色、形、線で表す
- ③他人からみた“わたし”を表す
- ④今の“わたし”を表す



①～④を、クレパスを使って絵で表現した後、席が近くの人とグループを作り、見せ合いながら説明していきます。みなさんの緊張も少しずつとけてきたようで、説明に対して質問したり、別の話題をしたりなど、話しが盛り上がってきました。普段、ワークショップといえばポストイットにグループメンバーがそれぞれに考えていることや思っていることを書いて、模造紙にまとめていくといったことが多いのですが、個性あふれる絵で表現して、①～④のこれまでをふりかえることは、ユニークな取り組みだったと思います。



午後の部 グループワーク

まず、バースデーリングというアイスブレイクにも用いられる手法で、グループ分けを行いました。

誕生日順にリング状に並んでいくものですが、顔の表情や声の大きさ、視線、身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション（ノンバーバルコミュニケーション）で実践しました。

実習は、6人か7人が1つのグループとなり、1枚の画用紙を順番に回し、講師から出されるそれぞれの課題を絵で表現し、最終的に1枚の絵を仕上げる作業です。条件として、ノンバーバルコミュニケーションで行うことが付け加えられたので、くすくすと笑い声だけが響いていました。講師からの説明で、「これはゆきだるまアートという手法で、たとえば、地域で活動していく場合、色々な人がいて、どういったことを考えているのかな、自分との違いはどうかかなと言ったことに気づいてもらう手がかりとなるような実習です。」と説明がありました。



上の写真が、1周目の各グループの絵です。講師から出された課題は順番に、

①人を描いてください

②その人が飼っているだろうと思うペットを描いてください

- ③その人とペットが住んでいるだろうと思う家を描いてください
- ④その人が持っているものを描いてください
- ⑤風景を描いてください
- ⑥その人が乗っている乗り物を描いてください
- ⑦その人を少しおしゃれにしてください

といった課題が出されました。この絵をみながら、自分が書いている時に、面白かったこと、困ったことがあったか、それをどう感じたか、また他人が書いている時に、どう感じたかといったことをグループで話し合いました。他のグループの絵を見学してみましたが、同じ課題を表す絵なのに、グループによって大きな違いがあることにも気づきました。

その後、さらに2周目を実践しました。今度は講師からの課題は無く、順番に自由に絵を付け加えていき、1周目と同様にグループで話し合いを続けました。



午後の部 これからを見つける

グループワークを終えて、個人作業に入りました。色画用紙を自分たちが活動しているフィールドとして、クレパスを使って、自分やその周りにどんな人がいるか、環境はどんなものがあるかといったことを絵で表現しました。そして、これからの活動について、周りに座っている3人程度でグループを組んで話し合いました。絵が苦手の人も一生懸命に説明している様子で、今ある活動について、足りないものや困っていることはあるか、これからどうやって広げているかといったことを考えてみました。



*** アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など ****

- ・人によって同じ事をみても違う意見を持つ事を目の当たりにできて良かった。人は皆さん、固定概念が強い事で損をしているのでは、その点もまた気づかされ、自分自身の大なる反省になりました。
- ・まちづくりについて、各人それぞれの想いがありました。
- ・講座の中で一人一人が身近な人として意識できて良かった。
- ・最近、受講生として受ける機会が少ないため刺激になりました。こういったゆっくりした WS のよいところを認識できた。
- ・「ファシリテーションとは」という根本のテーマとして参考になった。これを実践の場にどのように利用していくのかは、難しい問題だと感じた。特にグループ作業のクオリティを高める場などでは。
- ・絵を手法にした講習は本音を言えない（分からない）時に自分を見つけるのに良いのかな～。
- ・自分をみつめなおしながら少しずつ進んでいけたらよいと思います。
- ・タイトルと中身をもう少し近いものにしてほしいです。研修の中身を少し明らかにして、まちづくりに直結した内容でお願いしたいです。
- ・大変参考になりよかったです。もう一度、小山田さんの講座を受けてみたい気になりました。

*** アンケートより、今後、受けてみたい講座や提案など ****

- ・環境、自然とビジネス、心安らかに生れる街づくり。
- ・次につなげるステップアップをまた受講したい。人のつながりが多くなることを望みます。イベントの紹介等があれば良いと思います。（同地区・他地区を問わず）
- ・まちづくりびとが都市センターのサポートを受けながらも、地域の団体サポートやお手伝い的につながれるシステムができれば、それを（システム）手伝えたらなあ。と思いました。
- ・緑とまちづくり、景観とまちづくり、法令の制定と成功例など。
- ・人間関係トレーニングを今後も続けて行きたいと考じた。アサーティブなコミュニケーションを体験してみたい。
- ・今回は第1回の講座から、なつかしい顔にも出会えました。たいへん楽しい時間を過ごさせてもらいました。この顔ぶれを見ただけでもいろいろな活動をしていると思いますので、この人達の活動内容の交流などをやっていけるとお互いに役立つ情報交換ができると思う。